

今日で3学期も終わりですね。この場にいる皆さんは、次の学年に進級することのできる皆さんです。おめでとうございます。

先日行われた61回生の卒業式、呼名の返事もしっかりと答えている生徒が多く、校歌もしっかりと歌っていた、いい卒業式でした。62回生のみなさん、協力してくれてありがとうございました。

61回生の進路についていえば、早々と推薦で決めて終わりではなく、最後の最後まで希望する進路先の合格に向けて頑張っていた生徒も多くいました。本校が第一志望でなかった生徒の中でも、ここまで頑張ったか、と思う結果を残した生徒もいました。第一志望校に入学していなかったからこそ、その悔しさをバネに努力したのかもしれないと思いました。勉強は自分の気持ちの持ちようが大事で、努力次第ということを示してくれました。

中学校と高校の大きな違いの一つに、高校は卒業するときの進路が一人一人異なる、ということがあります。就職したい、美容師になりたいから専門学校に進学する、看護師になりたいから看護の専門学校や大学の看護学部に進学する、どんな会社かはわからなくても就職の幅を広げるために大学進学する、大学進学を考えるにあたり、興味のある学部・学科を考える必要があります。即ち、個人によって程度の差はあれ、必ず全員が将来を意識します。このことから逃げることはできないし、逃げてはいけないと思います。これからの1年間、または2年間、一生懸命に進路を考えてください。そして進路だけでなく、部活動や学校行事にも一生懸命であってほしい。今はそんなふうに思えないかもしれませんが、今を一生懸命に過ごしていくことが、人として成長していき、間違いなく自分の将来を創っていくことにつながっているのです。

中学校との大きな違いとして、義務教育ではないということもあります。高校では自分の行動にこれまで以上に責任が伴うようになります。最初に「おめでとう」と言いましたが、進級にしてもそうですね。昔のエピソードを紹介します。担任をしていた時に、ある生徒が周りに迷惑をかける行為をして注意したことがありました。彼は反省していたように見えたのですが、実は反省するのではなく、さらに関係ない生徒を困らせるような態度・行動があり、最初よりはるかに厳しく注意しました。同時に、そんな人間性では誰からも信用されなくなる、誰でも失敗することはあるが、その時に素直に振り返り、自分を変えようとするこの大切さに気づいてほしかったのです。彼とは進路変更も含めて高校生活について、本気で話をしました。自分の行動に対する責任があり、他人の安心・安全な学校生活を脅かしたことに進路変更も考えさせましたが、今度は本当に反省しもう一度やり直したいという真摯な気持ちを感じることができました。私ももう一度信じてみたいと思いました。その後、彼は少しずつ変わって立派に卒業していきました。高校時代に成長して卒業してくれたことが本当に嬉しかったです。

誰でも失敗することはありません。大切なことは、素直に反省し、自分を変えようと努力することです。

学校で一番大事なことは、皆さんの命であり、誰にとっても安心・安全な学校生活であることです。そして楽しい（楽しいを履き違えない）学校生活であることです。困ったこと、悩むことがあれば、相談しやすい大人に相談してください。

今日、皆さんにお伝えしたかったことは3つです。

- ・今を一生懸命に過ごしてほしい。
- ・失敗は誰にでもある。大切なことは素直に反省し自分を変えようとする事。
- ・命と、安心・安全な学校生活が一番大事。県宝は全力でその保障に取り組んでいくから、困り事、悩み事があれば相談しやすい大人に相談してほしい。

最後に、お礼を言います。

今年度もたくさんの生徒が気持ちの良い挨拶をしてくれました。本当に清々しい気持ちになりました。ありがとう。部活動の活躍も見ることもできました。頑張っている姿にエネルギーをもらえました。生徒会の皆さんは、文化祭をより楽しいものにしてくれました。そして、運動部の休日登校のルールも変更してくれました。ありがとう。

充実した春休みを過ごし、4月の新学期、元気に登校してください。